

2月 モニターレポート		担当出張所	木津川出張所
担当区間	木津川下流兩岸 京阪木津川橋梁～山城大橋 (1.6～13.5km)		
モニター実施日時	令和2年2月27日(木) 15時頃～16時頃		
天候	晴天		

(見出し)

今月は、流れ橋～近鉄京都線橋梁の左岸についてモニターしました。

(内容)

流れ橋下流に向かって、高水敷左側を歩き始めました。

(本当は、流れ橋を渡り、上流へ行こうと思っていました。流れ橋が工事中で渡れませんでした。工事中であることを忘れていました。) 前回はモニターしたコースですが、高水敷下は見えていなかったため、降りてみることにしました。

流れ橋四季彩館から登る階段です。看板がはげています。



高水敷から見た茶畑です。毎回この景色に癒されます。



道路の亀裂が目立ちます。前回も感じましたが、道がかなり細いです。字も消えています。



高水敷下におりました。ラジコン禁止は知らなかったです。幸い、今までのモニターでラジコンやドローンを見かけたことはありません。看板の場所は、人通りが少ない高水敷下でいいのでしょうか。



高水敷下は、川からのゴミが溜まるのか、ゴミ捨て場のようにゴミだらけです。



畑で使われているビニール袋に似たものもゴミとなっていました。

意図的に捨てたのか、風で飛ばされたのかわかりませんが、茶畑や畑をされている方にもゴミの管理清掃をお願いできないでしょうか。



台風の影響だと思えますが、倒れそうな木がいくつかありました。倒木の危険もありますが、倒れた場所に川のゴミもたまりそうです。前回も思いましたが、高水敷下の、木や萱場の整理、ゴミ回収が必要ないように感じます。



流れ橋まで戻って行きました。

流れ橋は、流れては工事で・・・という感じなのでしょう。大々的な工事でびっくりしました。毎回予算がどれくらいかかっているのでしょうか。



工事期間ですが、ネットで工事中まではわかりましたが、いつまでかという期間が見つけれませんでした。八幡市のHPなので、八幡市の管轄でしょうか。

モニターで毎回思うのですが、対岸まで行く手段に困ります。橋しかないと思いますが、貴重な対岸に渡る手段が、長きに渡り工事で渡れないのは不便です。私はこの地域住民ではないので、対岸に渡る人がどれくらい

るのかわかりませんが、流れ橋は文化ではありますが、本当に必要なのか、強化はできないのか、色々議論いただきたいです。



(意見・感想・処置等)

青空の下レポートありがとうございます。レポート写真では美しいスカイブルーと河川敷ののどかな風景がマッチしていて茶畑のグリーンとともに癒やされます。

白い看板ですが確認したところ当方で設置した看板ですが、今となっては不要ですので撤去する方向で検討します。

河川は、本来自由に利用できる空間ですが、ラジコン飛行機（ドローンを含みます）の落下等による他の河川利用者に対する危険、近隣民家への騒音被害等のトラブル・苦情が過去より多発しており、その防止の観点から、やむなく飛行禁止としています。また、国営淀川河川公園においては、同様の理由により、持ち込み禁止、飛行禁止としています。市民の方々にも寺村モニターのようにご存じで無い方も多々居られると思います。

今回もゴミの報告が多く、私どもとしましても悲しい気持ちになります。2月16日に予定していた木津川流域クリーン大作戦は降雨のため23日に延期しましたが、新型コロナウイルスの国内感染の拡大を防止するため中止となりました。実施していれば、もう少しゴミは少なかったと思いますので、仕方ないのですが残念です。また、高水敷のゴミ処理については予算の都合で残念ですが実施できないのが現状です。

流れ橋（上津屋橋）は京都府が昭和28年に設置し、令和元年台風19号で23回目の流出となったようです。

また、京都府のホームページで確認したところ、平成26年8月9日の台風11号による木津川上流域での豪雨により流出した、上津屋橋（流れ橋）の今後の方針案を検討するに当たり、外部有識者等から意見を聴取するため「上津屋橋（流れ橋）あり方検討委員会」を設置し議論されたようです。河川敷は建造物がありませんので昔と変わらない景色の中、流れ橋もまたそのままの風景を重んじて大切にされる想いもありこれまで保たれてきたのかもしれないですね。

次回のレポート楽しみにしています。